

真誠

学校だより
No. 5

西東京市立
田無小学校

平成30年
9月3日

児童教壇

二学期というスタートライン

校長 本名 修也

田無の子供たちの元気な声とともに二学期を始めました。

いまだに酷暑が続いています。夏休みだけでも東京地方の最高気温三十五度超えの日は九日間ありました。

毎年五年生が取り組んでいるバケツ稲が、花を咲かせたのを八月十日の朝に確認することができました。たとえ、酷暑であっても五年生の懸命の世話に応えて花を咲かせ、今年も命をつないだのです。



長い夏休みを経ての二学期のスタートは楽しみ半分、重たい気持ち半分なのではないでしょうか。確かに小学校の生活は学期を積み重ね、学年を積み重ねる六年間です。

子供達には、そんな六年間の生活の中で適宜スタートラインを自分で作ることが大切だと話してきました。例えば行事・学期・季節・自分の生活の中でできごとを用いて自分のスタートラインを創り、気持ちを切り替えて充実を目指す生きる力を身に付けてほしいと願っています。

- ・夏休みの宿題の進捗
- ・久々に合う仲間のこと
- ・学期中とは異なった生活リズム
- ・二学期の行事や移動教室

様々な理由があることと思います。それでも二学期は始まります。いや、自分の意志で始めるのです。いろいろ振り返って悩むよりも、どんな風に努力して楽しみを増やすかが大切です。二学期のスタートを切る子供達の表情や言動などを注意深く見守り、必要なときには声をかけ寄り添い「楽しみや充実のための努力」に導いてまいります。各ご家庭でも子供達の様子を注意深く見守り、小さな変化でも心配されるときには学校にもお知らせください。

一階廊下のセンターライン

学校の廊下や階段の安全な右側歩行の実現は、安全な学校生活実現に向けて田無小学校でも重要な課題です。

そこで、どこから右なのかという判断基準を明確にするため、センターラインを引きました。右側歩行の実現に向けて指導します。

自分で調べ確かめて学びを進める力

算数科を窓口とした、指導法改善のための校内研究で、「指示されない」と調べたり、確かめたりしないのかもしれない。という子供の様子が気になりました。自ら調べ、確かめて学びに向かう力を育てたいと考えております。

日々の安全確保

○ご案内のように、校庭鉄棒より南側の工事が継続しています。
○校舎東側のピロティー設置工事が継続しています。
○酷暑の日が予想されます。細心の注意と判断、指導の徹底により子供達の安全を確保してまいります。

四年二組について

担任の渡邊教諭は、出産に向けて療養が必要となりました。九月三日より十月末の予定です。◎担任代理として、
◎我妻研主任教諭が担当します。
◎算数の担当として、
◎大塚講師が担当します。
◎ご理解ご協力をお願いします。

九月の主な行事予定

28	27	26	24	21	19	18	17	14	13	12	11	10	8	7	6	5	4	3
金	木	水	月	金	水	火	月	金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	月
遠足一年	遠足二年	午前授業	振替休日	移動教室終	移動教室始	六年事前健診	敬老の日	理科見学四年	音楽集会	午前授業	はつらつ・学校保健委 ・保護者会(二・二・わ)	・児童朝会 ・水泳指導終 ・クラブ活動	・土曜授業 ・一〇四年 三時間授業	・音楽鑑賞教室五年 ・保護者会(三・四)	・避難訓練・保護者会(五・六・わ六) ・一年木曜日五時間授業開始	安全指導	給食開始	始業式・午前授業

☑：いじめ防止対策委員会
☑：児童虐待防止校内委員会

※今月のスクールカウンセラー来校日は 6日、13日、20日、27日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

今年度の研究の取り組み

特研究主任 我妻

今年度も昨年度に引き続き、算数について研究を進めています。研究主題は、『自分の思いを主体的に伝え合える児童の育成』です。それを実現するために、三つの仮説を立てました。

一つ目は、ゴールを明確にすることです。「何ができるようになり、何を身に付けさせるのか」これがまずぶれないように考えて授業をつくっていきます。

二つ目は、式を大切にすることです。式の意味を考えることによって、より算数的に見る力を育てます。

三つ目は、授業の中で児童が算数的な対話を通して、より確かな・よりよい解決方法を身に付けさせます。

実際の授業では、まず自分自身の力で解決に取り組むことを大事にします。時間をなるべくたつぷりとして、落ち着いて考える時間を確保します。

また、似ている場面や問題を自分で教科書やノートのページをめくりながら探し、自分の考えに生かせるようにします。

さらに、話し合いの時間は、進んで自分の考えや仲間の考えを比べ、共通点・相違点やより良い点を見いだし、学習内容を発展・統合させます。

そうすることにより、進んで解決に取り組む子やよりよい方法を追究する子を育てると考えています。

授業改善の取り組み

教務主幹 中澤

ある図形を提示しました。よく眺めた次の瞬間、パツと図形を示した画面が変わると子供たちの目はキラッと輝きます。五年生の「合同な図形」の授業です。合同という定義と重ねて図形を見るとどの図形が合同なのかと一斉に探し始めます。そして根拠をもって話し始めます。「○だと思っ。だって」と話は広がります。子供が考えをもち自ら話したくなる授業展開、単元導入の工夫など、授業改善は様々です。今年も児童の様子を見取り、授業改善推進プランを作成します。ホームページでお知らせする予定ですので、どうぞご覧ください。

九月・十月の主な行事について

・九月九日は五年生が、西東京市が主催する、「タグラグビー大会」に希望者十二名の児童が出席します。谷戸小学校で、行われます。応援をお願いします。

・十月一日～十月六日は、平成三十一年度入学予定の新一年生に対する学校公開が一週間行われます。児童の元気に学ぶ姿や、友達と共に学ぶ姿などご覧いただければ有り難いです。

・十月六日は、田無小学校体育館にて、午前十時十五分より「万引きをさせないフォーラム」が行われます。保護者の皆様もご参加ください。詳細は後日お知らせいたします。

地球環境の変化と理科授業

理科専科 桐生

暑い夏でした。この暑さの影響は理科授業にも現れ始めています。

一学期には栽培していたジャガイモが例年になく早く成長し、単元を入れ替えました。しかし一緒に使うホウセンカは育っておらず、セロリで代替しました。数多く発生した台風も、「教科書通り」でない動きをするものが増えていくようです。蚊の発生も少なかったようで、チョウなどの昆虫観察の対象もやがて変わっていくことでしょう。

気候変動だけでなく、プラスチックや放射性物質が地層に堆積することで人類の痕跡が恒久的に残ることから、地質学者の間では新しい地質時代『人新世』に入ったとする議論さえあるそうです。そうなれば理科の常識が一つ変わることになります。

理科授業の変化は、良くも悪くも地球の未来を先取りしているのではないかと感じています。

来校に際しての、「ご協力」のお願い

保護者の皆様にご協力をしていただきたい事項が二点ございます。

○ **ピンク色の保護者来校証**を必ずお付けください。児童の安全を考え、不審者等の侵入を防ぐためです。

○ **来校の際には上履きをお持ちください。**
五百弱のご家庭がありますので、お貸しできるスリッパの数はございません。